

日本公共政策学会 会報 No.63 2019年12月

PPSAJ Newsletter Public Policy Studies Association, Japan

1. 2020年度研究大会報告募集
2. 「公共政策フォーラム2019 in いわぬま」開催報告
3. 「公共政策フォーラム2020 in みなみいせ」開催予告
4. 2020年度学会賞募集
5. 国際交流委員会報告
6. 理事会記録(第119回)
7. 新入会員紹介
8. 理事会開催のお知らせ
9. 事務局からのお知らせ

1. 2020年度研究大会報告募集

2020年度研究大会企画委員会
委員長 岩崎 正洋

2020年度研究大会は、2020年6月6日(土)～7日(日)に関西大学(高槻ミュージックキャンパス)で開催される予定です。以下の要領の通り、大会での報告を募集しますので、ふるってご応募下さい。

(1) 若手研究者による研究報告セッション、(2) 自由公募セッション、(3) テーマ別公募セッションとも、2020年2月21日(金)応募締め切りで、企画委員長宛(下記メールアドレス)にご応募下さい。

iwasaki@mtj.biglobe.ne.jp

(1) 若手研究者による研究報告セッションの募集

▼募集内容:

公共政策に関する未発表の研究成果とし、20分以内の報告、報告後10分程度の討論を予定しています。報告テーマは自由ですが、原則として個人の研究発表とします。セッション全体で最大12人程度の枠を予定し、後記のような手続きにより報告者を決定し、司会者と討論者を配置します。

▼報告予定日:

2019年6月6日(土)

詳細については、報告者に直接連絡します。

▼応募資格:

日本公共政策学会の会員であり、大学院博士後期課程在籍者または修士学位の取得後 10 年未満の者(これに相当する者を含みますが、年齢による制限はありません)。応募資格は、2019 年度までの年会費を完納している会員に限ります(年会費の未納年度がある会員は応募資格がありません)。なお、応募時点で非会員であっても、同時に入会申し込みを行うことにより、応募することができます。また、通知その他の連絡は、原則として電子メールで行います。

▼報告者決定手続き:

- ① 氏名・最終学歴および学位・電子メールアドレス・所属・報告のテーマと概要(1,200~2,000 字程度)を明記し、2020 年 2 月 21 日(金)までに、電子メールの添付ファイル(Microsoft Word 使用)で提出して下さい。
- ② 報告のテーマ・概要をもとに、企画委員会において報告の採否を決定します。応募状況によっては、ご希望に添いかねる場合がありますのでご了承下さい。
- ③ 報告を許可された会員は、2020 年 4 月 10 日(金)までにレジュメ(研究大会ホームページで公開される報告要旨集用, A4 用紙 1 枚以内)を、また、2020 年 5 月 22 日(金)までにフルペーパー(研究大会ホームページで公開される報告論文集用, 16,000 字以内厳守)を、それぞれ電子メールの添付ファイル(Microsoft Word 使用)で提出して下さい。この期限に遅れた場合は、理由の如何を問わず、報告許可を取り消しますので、注意して下さい。

(2) 自由公募セッションの募集

自由公募セッションでは、(A) 個人による研究報告の申し込み、(B) 複数名による 1 つのセッションの企画の申し込み(報告者、司会者、討論者を含む)のそれぞれについて、以下の要領により募集します。

(A) 個人による研究報告の申し込み、

▼募集内容:

公共政策に関する未発表の研究成果や実践とし、30 分以内の報告、報告後 10 分程度の討論を予定しています。後記のような手続きにより報告者を決定し、司会者と討論者を配置します。

▼報告予定日:

2020 年 6 月 6 日(土)または 6 月 7 日(日)。

詳細については、報告者に直接連絡します。報告予定日についてのご希望には添いかねます。

▼応募資格:

日本公共政策学会の会員であること。応募資格は、2019 年度までの年会費を完納している会員に限ります(年会費の未納年度がある会員は応募資格がありません)。なお、応募時点で非会員であっても、同時に入会申し込みを行うことにより、応募することができます。また、通知その他の連絡は、原則として電子メールで行います。

▼報告者決定手続き:

- ① 氏名・電子メールアドレス・所属・報告のテーマと概要(1,200~2,000 字程度)を明記し、2020 年 2 月 21 日(金)までに、電子メールの添付ファイル(Microsoft Word 使用)で提出して下さい。

- ② 報告のテーマ・概要をもとに、企画委員会において報告の採否を決定します。応募状況によっては、ご希望に添いかねる場合がありますのでご了承下さい。
- ③ 報告を許可された会員は、2020年4月10日(金)までにレジュメ(研究大会ホームページで公開される報告要旨集用, A4用紙1枚以内)を、また2020年5月22日(金)までにフルペーパー(研究大会ホームページで公開される報告論文集用, 20,000字以内厳守)を、電子メールの添付ファイル(Microsoft Word 使用)で提出して下さい。この期限に遅れた場合は、理由の如何を問わず、報告許可を取り消しますので、注意して下さい。

(B) 複数名による1つのセッションの企画の申し込み

▼募集内容:

セッションの企画は、公共政策に関する未発表の研究成果や実践とし、1つのセッションあたり120分で3~4名程度の報告者、司会者、討論者をすべて揃えて企画を立てて申し込んで下さい。テーマは自由です。

▼報告予定日:

2020年6月6日(土)または6月7日(日)

詳細については、セッションの申し込みを行った代表者に直接連絡します。報告予定日についてのご希望には添いかねます。

▼応募資格:

セッションの参加者全員が日本公共政策学会の会員であること。応募資格は、2019年度までの年会費を完納している会員に限ります(年会費の未納年度がある会員は応募資格がありません)。なお、応募時点で非会員であっても、同時に入会申し込みを行うことにより、応募することができます。また、通知その他の連絡は、原則として電子メールで行います。

▼報告者決定手続き:

- ① 企画希望の場合は、セッションのタイトル、司会者、討論者の候補者の氏名、セッションの概要(1,200~2,000字程度)、さらに3~4名の報告者それぞれについて、氏名・住所・電話番号・電子メールアドレス・所属・報告のテーマと各報告者の報告概要(1,200~2,000字程度)を記し、2020年2月21日(金)までに、電子メールの添付ファイル(Microsoft Word 使用)で提出して下さい。これらは代表者としてセッションの申し込みを行う会員がまとめて提出して下さい。
- ② 報告のテーマ・概要をもとに、企画委員会において報告の採否を決定します。応募状況によっては、ご希望に添いかねる場合がありますのでご了承下さい。
- ③ 報告を許可された会員は、2020年4月10日(金)までにレジュメ(研究大会ホームページで公開される報告要旨集用, A4用紙1枚以内)を、また2020年5月22日(金)までにフルペーパー(研究大会ホームページで公開される報告論文集用, 20,000字以内厳守)を、電子メールの添付ファイル(Microsoft Word 使用)で提出して下さい。この期限に遅れた場合は、理由の如何を問わず、報告許可を取り消しますので、注意して下さい。

(3) テーマ別公募セッションの募集

日本公共政策学会では、研究大会において、企画委員会が設定したテーマに関する公募セッションを新たに設けることにしました。2020年度の研究大会においては、①「政府間関係と公共政策の現在」、②「政策と失敗判断の検証」、③「地方議会と政策形成」という三つのセッションを設定することになりました。以下の要領により、研究報告を募集しますので、ふるってご応募下さい。

▼募集内容：

①「政府間関係と公共政策の現在」、②「政策と失敗判断の検証」、③「地方議会と政策形成」の三つのうちのいずれかに関する未発表の研究成果や実践とし、30分以内の報告、報告後10分程度の討論を予定しています。1つのセッションあたり120分で、3～4名程度の報告者を予定しています。三つのうちのいずれかに関する内容であれば、各報告テーマは自由です。なお、テーマ別公募セッションは、三つのセッション全体で6～9名程度の枠を予定し、後記のような手続きにより報告者を決定し、司会者と討論者を配置します。

▼報告予定日：

2020年6月6日(土)または6月7日(日)

詳細については、報告者に直接連絡します。報告予定日についてのご希望には添いかねます。

▼応募資格：

日本公共政策学会の会員であること。応募資格は、2019年度までの年会費を完納している会員に限ります(年会費の未納年度がある会員は応募資格がありません)。なお、応募時点で非会員であっても、同時に入会申し込みを行うことにより、応募することができます。また、通知その他の連絡は、原則として電子メールで行います。

▼報告者決定手続き：

- ① 氏名・電子メールアドレス・所属・報告のテーマと概要(1,200～2,000字程度)、さらに、三つのテーマのうちのいずれに応募するのかについても明記し、2020年2月21日(金)までに、電子メールの添付ファイル(Microsoft Word 使用)で提出して下さい。
- ② 報告のテーマ・概要をもとに、企画委員会において報告の採否を決定します。応募状況によっては、ご希望に添いかねる場合がありますのでご了承下さい。
- ③ 報告を許可された会員は、2020年4月10日(金)までにレジュメ(研究大会ホームページで公開される報告要旨集用、A4用紙1枚以内)を、また、2020年5月22日(金)までにフルペーパー(研究大会ホームページで公開される報告論文集用、20,000字以内厳守)を電子メールの添付ファイル(Microsoft Word 使用)で提出して下さい。この期限に遅れた場合は、理由の如何を問わず、報告許可を取り消しますので、注意して下さい。

2. 「公共政策フォーラム 2019 in いわぬま」開催報告

2019年度公共政策フォーラム委員会
委員長 富澤 守

「公共政策フォーラム 2019 in いわぬま」は、岩沼市との共催により、2019年11月23日(土)及び24日(日)

の2日間にわたり、岩沼市民会館において「地域資源を活用した観光と交流人口拡大による震災復興」をテーマに開催されました。1日目の予選会では、全国13大学15チーム、168名の大学生が参加し、政策提案(政策コンペ)を行いました。予選会では会場は2つに分け、第1会場は8チーム、第2会場は7チームの審査を行い、各会場の上位3チームを選考しました。2日目は15チームのうち予選会を突破した6チームが決勝戦において再度発表を行いました。

厳正なる審査の結果、下記6チームが入賞しました。大学生の政策提案は、実際に岩沼市を訪問し、市役所や各企業、地域住民の方々に対するヒアリングを行ったことについてまとめられたものが多く、審査員の皆さんとの活発な質疑応答が行われました。

講評では、決勝戦の審査員だった鈴木岩沼副市長から激励のお言葉をいただき、会場は熱気に包まれました。

特筆すべきことは一般市民の方が多数フォーラム会場に来ていただけたことです。

「泊まれた学生の皆さんがどう発表するのか見に来た」という宿泊先の女将さん、学生の皆さんがヒアリングを行った先々の市民の皆さんが「興味があるので聞きに来た」と関心の高さが伺えました。

敷居が高く感じられている学会フォーラムに、人との繋がりのなか、関心も持って地元の皆様が傍聴に来てくださいましたことは大きな成果だったと考えます。

また、フォーラム終了後に、岩沼市の復興状況を視察するための「復興オプションツアー」が開催され、ツアー参加者には、なかなか聞くことのできない、地元ならではの話など、より深く岩沼市を知っていただく貴重な機会となりました。

本フォーラムの開催にあたり、ご協力をいただきました岩沼市をはじめ関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

大学生に政策コンペ審査結果

- ◆ 日本公共政策学会会長賞
明治大学 木寺ゼミ【LOUNGE IWANUMA】
- ◆ 岩沼市長賞
日本大学 中川ゼミ【新たな繋がりの創出～日本版ハウスハルテン～】
- ◆ 岩沼市議会議長賞
愛媛大学 福井ゼミ【地域の味がまちをつくる～対面販売が生み出すローカルコミュニケーション～】
- ◆ 岩沼市副市長賞
北九州市立大学 檜原ゼミ【岩沼復興チャレンジャーズー協働で取り組む震災からの復興ー】
- ◆ 公共政策フォーラム2019 in いわぬま実行委員会賞
東洋大学 齋藤ゼミ【森杜(もりもり)プロジェクト～3つのもりで繋がる岩沼～】
- ◆ 日本公共政策学会特別賞
専修大学 石川ゼミ【子どもから始まるまちづくり】

公共政策フォーラム2019 in いわぬま(令和元年11月23日～24日 岩沼市民会館)

【11月23日 12時30分～】

開会式

県会長、菊地岩沼市長からご挨拶をいただき、予選会が始まりました。

会長挨拶



市長挨拶



予選会

第1会場(大ホール)



▲審査員からの質問に答える様子



第2会場(中ホール)





発表を真剣に聞き入る様子

講評と交流会

交流会では、牛タンを使ったつくねなど、宮城の名産が振舞われました。



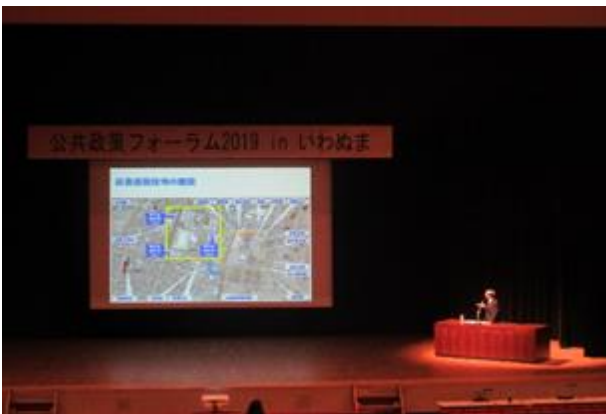
【11月24日 9時～】

決勝戦





菊地岩沼市長による講演



結果発表



本当にありがとうございました。

3. 「公共政策フォーラム 2020 in みなみいせ」開催予告

2020 年度公共政策フォーラム委員会
委員長 田口 一博

来年度の公共政策フォーラムは、2020 年 10 月に、三重県度会郡南伊勢町で開催されます。

日程及び会場は、次のとおりです。

日 程： 2020年10月17日(土)・18日(日)

会 場： 南伊勢町町民文化会館(南伊勢町五ヶ所浦 3917)

※ テーマ等が決まり次第、学会ウェブサイトならびに会報で連絡します。

4. 2020年度学会賞募集

学会賞選考委員会
委員長 浅野 耕太

2020年度学会賞の推薦(自薦・他薦)を募集します。

- ① 日本公共政策学会 Web サイトから、「本年の研究活動」あるいは「学会賞推薦書(他薦用)」の Word ファイルをダウンロードします。
- ② 用紙にある説明に沿って、Word ファイル「本年の研究活動」「学会賞推薦書(他薦用)」に入力します。
- ③ 入力済みの Word ファイルを、電子メールの添付ファイルとして、以下の宛先に送信してください。

送信先: asano.ppsaj@gmail.com(「本年の研究活動」「学会賞推薦書(他薦用)」とも共通)

件名: 「公共政策学会賞書類」(「本年の研究活動」「学会賞推薦書(他薦用)」とも共通)

締切: 2020年1月20日(月)

- ④ 「本年の研究活動」に入力されたご自身の研究業績または推薦されました対象者の研究業績(著書や論文抜刷の現物、ハードコピー、PDF ファイルのいずれかひとつ(PDF ファイルを推奨))も送ってください。PDF ファイルの場合、その容量が 25 MB 以内に収まるのであれば上記のメールに添付いただいても結構です。あるいは以下の宛先に必ず書留にてご郵送ください。郵送される場合は、「本年の研究活動」と「学会賞推薦書」がメール送信済みであっても、印字して同封いただけると助かります。なお、今回より、送付された研究業績は返却しないこととなりましたので、ご了承願います。PDF ファイルの容量が 25 MB を超える場合、以下の Web 公開受取フォルダにアクセスし、PDF ファイルをアップロードしていただいても結構です。

Web 公開受取フォルダの URL

<https://fsv.iimc.kyoto-u.ac.jp/public/mm6EgAZS5EOALAwB2xVu1s3pD8sL9zYyICm0HyikRjj4>

【アクセス方法】

- ・上記の URL にアクセスいただき、ご自身のメールアドレスを入力します
- ・その後、入力いただいたメールアドレスに京都大学からパスワードが送付されます
- ・パスワードを入力いただくとアップロードページへアクセスできます

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学大学院人間・環境学研究科 浅野研究室(学会賞)

締切:2020年1月20日(月)(当日までの消印有効, 書留)

- ⑤ 応募資格は、2019 年度までの年会費を完納している会員の方に限ります(年会費の未納年度がある会員は応募資格がございませんのでご注意ください)。

学会賞選考要項

目的

- ① 「公共政策」分野の研究の学術的な進展を促進する。
- ② 学会活動の一層の発展のため、優れた研究者を発掘する。
- ③ 新進気鋭の研究者に入会のインセンティブを与える。
- ④ 公共政策関連の学術的な「情報共有」を広く会員間で図る。

賞の種別と対象

- ① 作品賞は、公共政策研究分野を代表する著書を対象とする。学界をリードしてきた研究者による集大成的業績を想定し、会員の著書を中心とする。
- ② 著作賞は、会員の優れた著書を対象とする。
- ③ 論説賞は、会員の優れた学術論文を対象とする。
- ④ 奨励賞は、研究歴が比較的浅く、将来を期待できる研究者の博士論文あるいは著作物を主たる対象とする。博士論文の場合、博士課程において授与された論文を原則とし、博士論文をもとにした刊行物も対象に加える。

刊行時期

- ① 2019 年 1 月～12 月刊行の著書。
- ② 2019 年 1 月～12 月刊行の会員による著書。
- ③ 2019 年 1 月～12 月発表の会員による学術論文。
- ④ 2019 年 1 月～12 月に学位取得した会員による博士論文、同時期に刊行された会員による著作または学術論文。

表彰

- ① 賞状と楯を受賞者に授与する。
- ② 学会総会の場で受賞者を発表し、授与式を行う。

選考基準

- ① 作品賞については、その年の政策研究を代表する業績であって、学会賞大賞としてふさわしい著書とする。
- ② 著作賞、論説賞、奨励賞については、(1)論説の独創性、(2)研究テーマの発展性、(3)内容の学術的水準、(4)社会的インパクト、(5)政策研究のテーマとしての妥当性という観点から評価して選考する。
- ③ 同一の賞については、過去の受賞歴を勘案する。
- ④ 全ての賞において、共著も検討対象とする。受賞者は、受賞時点で会員であることを必要とする。

選考手続き

- ① 会員からの自薦・他薦によって候補作を募り、選考委員が把握した情報を加えて、推薦作を特定する。
- ② 5 つの小委員会(法律、経済・財政、国際関係、政治、行政・地方自治)を設け、各小委員会で第 1 次選考を行う。
- ③ 学会賞選考委員長(学会副会長)、学会会長・事務局長、各小委員長の合計 8 名で第 2 次選考を行い、最終決定とする。
- ④ 5 つの小委員会は、小委員長を含めて 3～5 名の小委員により構成し、小委員の選任は小委員長に委ねる。小委員は、原則として会員から選任する。

選考スケジュール

- ① 学会賞候補作の自薦・他薦の依頼を、2019 年 12 月に刊行される会報に掲載するとともに、学会ホー

ムページ上で情報の周知に努める。

- ② 「本年の研究活動」・「学会賞推薦書(他薦用)」の用紙および研究業績の提出締切を、2020年1月20日(月)とする。選考委員長は、1月末頃に選考対象業績の情報・現物等の各小委員会への割振りを行い、2月上旬より各小委員会において第1次選考を開始し、4月上旬までに終了する。
- ③ 各小委員長からの第1次選考の審査報告を受けて、4月上旬から第2次選考を行って受賞作を決定し、原則として4月に予定されている理事会に報告する。
- ④ 4月理事会の終了後、受賞者に結果を通知する。

選考委員会

2020年度学会賞選考委員会および小委員会の委員長は、以下の通りとする。

学会賞選考委員長(学会副会長)＝浅野耕太(京都大学)

学会会長＝縣公一郎(早稲田大学)

学会事務局長＝松田憲忠(青山学院大学)

法律小委員会委員長＝小泉祐一郎(静岡産業大学)

経済・財政小委員会委員長＝八木信一(九州大学)

国際関係小委員会委員長＝山本達也(清泉女子大学)

政治小委員会委員長＝河村和徳(東北大学)

行政・地方自治小委員会委員長＝秋吉貴雄(中央大学)

5. 国際交流委員会報告

国際交流委員会
委員長 野田 遊

1. 若手研究者 ICPP4 派遣報告

2019年6月に、若手研究者 ICPP 等派遣助成による派遣研究者(坂井亮太会員、竹前由美子会員)が、国際学会の研究大会(4th International Conference on Public Policy : ICPP4, カナダ・モントリオール)で報告されました。坂井会員は「熟議民主主義」、竹前会員は「公民パートナーシップ」という公共政策の主要課題を扱い、お二人の切り込みの鋭い優れた研究報告に対して、会場から多くの質問がありました。今後の活躍が期待されます。なお、若手派遣助成額は297,279円(予算30万円)となりましたことをご報告申し上げます。

坂井亮太会員

報告テーマ: Systematic Review of Mathematical Models of Citizens' Deliberative Participation in Public Policy: Proposal of Mixed Deliberation Groups

所属パネル: Citizens and Evidence-based Policy Making: Perfect Couple or Strange Bedfellows ?

竹前由美子会員

報告テーマ: Public-Private Partnerships in Climate Change Adaption

所属パネル: Policy Integration for Boundary-spanning Policy Problems: Climate Change Mitigation and Adaptation Policy

2. パネル ICPP4 派遣報告

ICPP4 へ大山耕輔副会長、菊地瑞夫会員、砂原庸介会員、野田遊会員を派遣しました。パネルへのプロポーザルは派遣報告者3名以外に5名ありました。うち河合晃一会員と派遣報告者3名で第1セッション(以下のとおり)、残る4名は菊地議長のもと第2セッションとしました。公共政策とマルチレベルガバナンスに関する日本

からの研究報告に対して討論者や会場から有益なコメントを多数いただきました。なお、パネル派遣支出額は、科学研究費補助金や学内研究費からの支出をできる限り優先し 124,857 円(予算 33 万円)となりましたことをご報告申し上げます。

パネル名: Public Policy Challenges and Multi-level Governance in Japan: Sharing Japan's Experiences as a Forerunner of Emerging Issues

議長: 菊地瑞夫会員

討論者: B. Guy Peters 先生 (University of Pittsburgh)

青木尚美先生 (Lee Kuan Yew School of Public Policy – Singapore)

報告者: 大山耕輔副会長 IPBES and Biodiversity Policy: From the Perspective of Multi-level Governance

砂原庸介会員 Comparing Metropolises: Are the Japanese Cities Big Enough?

野田遊会員 Nonlinear Effects of Performance to Citizen Satisfaction and Performance Information

河合晃一会員 The Institutional Changes of Agency System in Japan: Why did Japanese Government Fail in Integrated Arrangement?

3. IWPP2 への若手研究者海外派遣助成

IWPP2への若手研究者海外派遣助成については応募がなかったことをご報告申し上げます。

6. 理事会記録(第 117 回)

開催日時: 2019 年 11 月 23 日(土) 9 時 30 分~12 時 30 分

会場: 岩沼市民会館 2 階視聴覚室

出席者: 縣公一郎, 浅野耕太, 砂金祐年, 宇佐美誠, 大山耕輔, 金子憲, 河村和徳, 田口一博, 朽尾真一, 富澤守, 中川雅之, 永田尚三, 檜原真二, 野田遊, 廣瀬克哉, 福井秀樹, 福田耕治, 松田憲忠

委任欠席者: 市川喜崇, 伊藤久美子, 岩崎正洋, 宇野二郎, 加藤淳子, 川勝健志, 木寺元, 焦従勉, 谷口将紀, 辻陽, 土屋大洋, 藤原静雄, 堀真奈美, 松元雅和, 宮脇昇, 森裕亮, 山本健太郎

欠席者: 磯崎初仁, 鈴木庸夫, 高村ゆかり, 土山希美枝(監事), 増山幹高(監事)

報告事項

1. 2020 年度学会賞選考

- ◆ 学会賞選考委員長の浅野耕太会員より, 委員会のメンバー(下記)とスケジュール(例年通り)について報告がなされた。

学会賞選考委員長(学会副会長): 浅野耕太会員(京都大学)

学会会長: 縣公一郎会員(早稲田大学)

学会事務局長: 松田憲忠会員(青山学院大学)

法律小委員会委員長: 小泉祐一郎会員(静岡産業大学)

経済・財政小委員会委員長: 八木信一会員(九州大学)

国際関係小委員会委員長: 山本達也会員(清泉女子大学)

政治小委員会委員長: 河村和徳会員(東北大学)

行政・地方実小委員会委員長： 秋吉貴雄会員(中央大学)

- ◆ 今回より、業績の提出を PDF ファイル等の形式で電子メールに添付するかたちで行うことを認めることと、現物やコピー等が郵送された場合には、それらを返却しないことの 2 つの変更案が提案され、承認された。

2. 2020 年度研究大会開催

- ◆ 2020 年度研究大会実行委員長の永田尚三会員より、2020 年度研究大会は、関西大学にて、2020 年 6 月 6 日(土)～7 日(日)の日程で開催される予定であるとの報告があった。
- ◆ 教室や大ホール等の使用料が、前回理事会のときから状況が変わり、有料となることが説明され、その一方で、主催のかたちによっては無料となることが報告された。
- ◆ 委員会の構成は、永田尚三会員(関西大学, 委員長), 山崎栄一(関西大学), 永松伸吾(関西大学), 桑名謹三(関西大学), 福澤真一(常磐大学), 杉岡秀紀(福知山公立大学)となるとの報告があった。

3. 2020 年度研究大会企画

- ◆ 2020 年度研究大会企画委員長の岩崎正洋会員より(事務局代読), 2020 年度研究大会企画委員会は、岩崎委員長の他に、鷺見英司会員(新潟大学), 辻陽会員(近畿大学), 原田徹会員(佛教大学), 宮脇健会員(日本大学), 森裕亮会員(北九州市立大学), 山谷清秀会員(浜松学院大学)から構成されることが報告された。
- ◆ 研究大会構成は、①共通論題, ②企画委員会によるセッション, ③若手研究者による研究報告セッション, ④自由公募セッション(個人/複数名によるセット提案), ⑤テーマ別公募セッションとなるとの説明がなされた。また、具体的なテーマ案については、委員会のなかで現在検討中であることが説明された。
- ◆ スケジュールについては、申込締切が 2020 年 2 月 21 日(金), レジューメ提出締切が 2020 年 4 月 10 日(金), フルペーパー提出締切が 2020 年 5 月 22 日となる予定であるとの報告が行われた。

4. 『公共政策研究』(第 19 号)

- ◆ 年報委員長の宮脇昇会員より(事務局代読), 『公共政策研究』(第 19 号)は 2019 年 12 月 6 日～8 日頃に発送予定であることが報告された。
- ◆ 今回より、表紙の第地頭の背景色を、前号までの濃いめの青色から、10 号までに採用されていた薄めの青色(DIC70)に戻すことが提案され、承認された。

5. 『公共政策研究』(第 20 号)

- ◆ 年報委員長の宮脇昇会員より(事務局代読), 『公共政策研究』(第 20 号)は 2020 年 12 月刊行を目指して、作業を進めていることが報告された。
- ◆ 年報の構成は例年通りとなること、編集スケジュールも例年通りとなること、特集テーマは「公共政策研究における地方自治とガバナンス(仮)」と「アクティブ・ラーニングと公共政策教育(仮)」となる予定であるとの報告がなされた。

6. 2020 年度公共政策フォーラム

- ◆ 2020 年度公共政策フォーラム委員長の田口一博会員より、2020 年度の公共政策フォーラムは、2020 年 10

月 17 日(土)～18 日(日)に, 南伊勢町(南伊勢町町民文化会館)で開催されることが報告された。

- ◆ テーマについては, 2020 年 4 月までに公表される予定であることが説明された。
- ◆ 交通手段については, 送迎バス(有料)の運行を検討しているとの説明が行われた。

7. 2019 年度研究大会決算報告

- ◆ 2019 年度研究大会実行委員長の朽尾真一会員より, 2019 年度研究大会の決算報告が行われた。

8. 2019 年度国際交流委員会報告

- ◆ 2019 年度国際交流委員長の野田遊会員より, 2019 年度の ICPP へのパネル派遣と若手派遣について, 派遣報告者と助成支出の報告が行われた。

9. 2020 年度 IWPP 派遣助成応募状況

- ◆ 2019 年度国際交流委員長の野田遊会員より, 2020 年度 IWPP への派遣助成について, 今回は応募がなかったことが報告された。

10. 大学コンソーシアム京都での表彰

- ◆ 事務局より, 大学コンソーシアム京都(2019 年 12 月 15 日開催)に, 例年通り, 学会からの表彰が行われることと, 学会副会長の浅野耕太会員が出席することが報告された。

11. 名簿等送付

- ◆ 事務局より, 2019 年度会員名簿は, 12 月 6 日～8 日頃に, 『公共政策研究』(第 19 号)とともに発送予定であることが説明された。
- ◆ 会報(No.63)については, 今回の理事会での決定事項や理事会記録を含めた内容となり, 発送は年内を予定しているとの報告がなされた。

審議事項

1. 『公共政策研究』投稿規定一部改定

- ◆ 学術委員長の福井秀樹会員より, 『公共政策研究』の投稿規定一部改定について提案がなされ, 審議の結果, 承認された。具体的には, 執筆者の校正回数を初校一回のみとすることや, 文章執筆上のルールを明記すること等の変更が承認された。

2. 異議申立への回答案

- ◆ 学術委員長の福井秀樹会員より, 『公共政策研究』の査読に関連する異議申立に対する回答案が提案され, 審議の結果, 承認された。

3. 査読評価基準・査読体制・学術委員会引継文書の変更

- ◆ 学術委員長の福井秀樹会員より, 『公共政策研究』の査読評価基準・査読体制・学術委員会引継文書の変

更について提案がなされ、審議の結果、再度学術委員会で検討を行い、次回理事会で審議することが決定された。

4. 学生政策コンペ(一般部門)

- ◆ 学生政策コンペ(一般部門)実施委員長の永田尚三会員より、学生政策コンペ(一般部門)は、2020年9月に開催される公共政策学会関西支部研究大会の午後の部で実施される予定であることと、開催会場は関西大学高槻ミュージックキャンパスとなることが説明された。
- ◆ コンペのテーマ設定や参加資格等について意見交換が行われ、引き続き検討を続けていくことが決定された。

5. 2021年度研究大会

- ◆ 縣公一郎会長より、2020年度研究大会は本来であれば首都圏開催となるが、2020年夏のオリンピック・パラリンピックの影響を考慮して、例外的に首都圏以外で開催されることを踏まえて、2021年度研究大会は首都圏で開催することについての提案がなされ、審議の結果、承認された。

6. 2021年度公共政策フォーラム

- ◆ 縣公一郎会長より、2021年度公共政策フォーラムは、これまで通り、自治体の協力のもとに実施することが提案され、承認された。
- ◆ 2020年度9月に試行的に実施される学生政策コンペ(一般部門)と2020年度の南伊勢町での公共政策フォーラムの実施後に、これら2つの企画(公共政策フォーラムと学生政策コンペ(一般部門))を今後も続けていくべきか等について検討することになることが、確認された。

7. 2020年度国際文献社業務委託契約

- ◆ 事務局より、2020年度の国際文献社との業務委託契約について、国際文献社から、出納業務における工数増加、経理業務における記帳業務の工数増加、会計業務における全般的な労務負担の増加により、会計基本料の5,000円の値上げが提示されていることが報告され、審議の結果、国際文献社からの提示のかたちで契約することが承認された。

8. 会員移動

- ◆ 事務局より、12名の入会申請があったとの報告がなされ、了承された。
- ◆ 理事会後の会員数は、個人会員が952名、団体会員が5団体となった。

9. その他

- ◆ 次回理事会(第120回)は、2020年1月11日(土)に、早稲田大学26号館7階702にて、14時から開催される予定であるとの報告が事務局より行われた。

7. 新入会員紹介

第 119 回理事会で承認された新入会員

一柳絵美, 前田貴洋, 香月悠希, 有本新, 柳瀬祐希, 小林墨, 小野恵子, 西畑宏治, 黒沼玲音, 粕谷泰洋, 小川徹, 伊藤泰三
(敬称略)以上, 12 名の方が新規に入会されました。

8. 理事会開催のお知らせ

第 120 回理事会

- ◆開催日時: 2020 年 1 月 11 日(土)
14 時開始予定
- ◆会場: 早稲田大学
26 号館 7 階 702

第 121 回理事会

調整中

9. 事務局からのお知らせ

2019 年度年会費納入のお願い

個人会員は 8,000 円/年(大学院生の会員は 5,000 円/年。ただし, 大学院生の会員は, 年度当初に在学証明書の提出が必要), 団体会員は 50,000 円/年です。2017 年度以前の年会費未納の会員の方は, 未納分も含めて納入をお願いいたします。年会費未納の会員の方は, 会員名簿, 会報, 学会誌の受領, 大会・フォーラムへの参加, 連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので, ご注意いただきますようお願いいたします。

口座番号は次のとおりです。

郵便局

郵便振替口座: 00850-0-216663
加入者名: 日本公共政策学会

他金融機関からのお振込の場合

ゆうちょ銀行
店番: 089(店名:ゼロハチキュウ)
当座預金: 0216663
加入者名: 日本公共政策学会

日本公共政策学会 会報 第 63 号

2019 年 12 月 31 日発行

編集・発行

日本公共政策学会事務局

〒150-8366

東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学 法学部 松田研究室

学会メールアドレス: jimukyoku@ppsa.jp

学会ウェブサイト: <http://www.ppsa.jp/>

郵便振替口座: 00850-0-216663 日本公共政策学会

PPSAJ Newsletter No.63, December 2019

Copyright 2019 Public Policy Studies Association, Japan